

2015「夏の水景」フォトコンテスト審査結果発表

2015年の夏は暑さが厳しく、外出を控えなければならないほどでした。応募も九月には入ってから急激に届き始めたのもうなずけます。ご応募いただいた方、暑いなか写真を撮ってお送りいただきありがとうございます。応募作の一点、一点を真剣に拝見し、特に魅力ある作品を下記の通り選びました。

今回も写真家の蔵真墨氏に審査協力をお願い致しました。

最優秀賞「盛夏」井上信行さん撮影



シンメトリーな形の噴水は構図が安定しすぎて案外と撮影するのが難しいものですが、井上さんの作品では子どもたちのシルエットがそれぞれあちらこちらへと自由に向かい、全体的にととても良いバランスになっています。躍動感のある子どもの姿がうまく散らばっている一瞬を切り取っています。

準優秀賞「ぴちぴちちゃぷチャプらんランらん」糸賀一典さん撮影



あいにくの空模様のした、女の子がひとときわ明るい色の傘をさして水のなかを歩いています。

自分も子どもの頃、このように水に親しんだことがあると感じる人は多いのではないのでしょうか。見る人の記憶を呼びさます理由は女の子の顔が隠れていることにあるかもしれません。

奥に見える噴水の白い柱がぽつん、ぽつんとあり、手前に女の子が歩いている位置関係に静かなテンポがあります。

佳作「水しぶき」藤山香絵さん撮影



天気の良い日のようです。水におびえているのか、おびえながらも喜んで

いるのか、お子さんの表情やこわばった体つきは、ちょっとした演出では得ることができない絶妙なものです。洋服の鮮やかなストライプや星模様が明るく楽しい雰囲気をついています。

佳作「暑い日」市川秀明さん撮影



男の子が噴水の水に当たって遊んでいます。水が玉状に写っているのは写真ならではの表現です。より水の存在感、涼感が伝わってきます。右の男の子にあたった水がはじけている様子、左の男の子のなんともいえなく楽しいという表情、とてもよく写っています。

佳作「ミストの中へ」金原智さん撮影



男の子がピンク色のボールをかかげて噴水のなかを歩いています。男の子に

フォーカスを絞って周辺はぼけさせているため画面が整理されて、いわばとても絵になっています。噴水は規模が大きいものなどはどのようにとらえるか一考が必要です。あれもこれも入れたいと全体を写そうとすると散漫なイメージになってしまうこともあるので風景のなかでポイントをどこに置くかという判断が撮影者に求められます。金原さんの作品はポイントを絞って作画した好例です。

子どもが写っている作品が多くなりました。水に反応して顔や体にあらわれる自然な表情が魅力的でした。大人が被写体になっている応募作もありましたが今回は選にもれませんでした。風景写真も選にもれ残念です。噴水そのものの作品ももう少し欲しいところです。次回に期待したいところです。

(フォトコンテスト係)

平成 27 年 10 月 28 日
株式会社ドゥサイエンス
代表取締役 香取 良一

蔵 真墨 (くら・ますみ) 写真家。近年の展覧会に「**Four From Japan: Contemporary Photography**」(2015 年、コンデナスト・ギャラリー、ニューヨーク、アメリカ)、「**Adventures of Kura**」(2015 年、BMW フォトスペース、プサン、韓国)。近著に写真集『氷見』(2013 年、蒼穹舎刊)。